

平成29年
第4回
定例会



ひらない 議会だより

第194号

平成30年2月14日発行
青森県平内町議会

とっても たのしかったよ!!



カルタ大会

双子へき地保育所



議会報告会開催	2～3
平成29年度補正予算	5～7
一般質問（5人登壇）	10～14
追跡 あの質問はどうなった?	15
サークル紹介	17

議 会 報 告 会

11月8日（水）山口・清水川コミュニティセンター、9日（木）青少年ホームの3ヵ所でおこなわれた初の議会報告会の内容をご紹介します。

西地区・山 口

参加者数 町民13人



質問 少年院跡地はどうなったのか？

説明 委員会を立ち上げ、消防庁舎について審議中です。

質問 ホタテ残渣の建設計画で、三共刃型工業のバイオ21の検証はしていると思うが、実態はどこまで把握しているのか？

説明 会社では処理能力大型化の機種改善に取り組み、その後に公開実験の予定です。

東地区・清水川

参加者数 町民8人

質問 中学校の統廃合問題が地元も知らないのに（議会だより等）にでた。具体的にどうなっているのか？

説明 平内校舎絡みであり、統廃合ありきではありません。当然、統廃合問題は皆さんと話し合いをしなければなりません。

質問 東平内中学校の70周年記念事業で町長が出席していたのに、なぜ挨拶をさせなかったのか？

説明 事業運営は町ではなく学校関係者ですので、のちほど確認し報告します。

確認した結果……事業運営は学校関係者です。



質問 平内中央病院がこれからも運営していくことが、議会として可能だと思っているのか？

説明 平成25年10月からコンサルタント導入、27年度から公営企業全部適用の経営体に移行し、ここ数年は経営改善がなされています。



質問 ホタテの残渣問題はどうなっているのか？

西地区と重複

質問 65歳から介護保険料は年金からの支払いだが、8月生まれなのに月割りではなく1年分請求された。なぜなのか？

説明 1年分の請求ではないはずですが、確認します。

確認した結果……1年分ではなく、誕生日の月からです。

質問 東小学校・東平内中学校の避難場所へは狭道路、踏切でバスが入っていけない。議会で改善を働きかけていただきたい。

説明 これまで、たびたび議会でも質問があった。マイクロバスでの搬送が考えられないか、話し合う余地があると思います。

に 39 人 が 参 加

中地区・小 湊

参加者数 町民18人



質問 ホタテの残渣問題はどこまで進んでいるのか？

前ページと重複

質問 ホタテ残渣処理をおこなう三共刃型工業に不信感があるようだが、大丈夫か？

説明 機種の改善をおこなっていますので、今後の公開実験後にみなさんに報告したいと思います。

質問 中央病院へ行くと、またあの先生に怒られると年配者は震え上がっている。先生が見つからない中でどのように考えているのか？

説明 私たち議員にも不満の声が届いています。接遇については常に病院管理者に改善を要請しています。

意見 町民になって日が浅いので、自分の意見や相談はどこの窓口でおこなえば良いのかを、広報等に載せていただければ非常に助かる。

説明 町内会を通して町へ上げていただければよろしいと思います。

意見 10年ほど平内町を離れ、間違っているかもしれないが町議選では候補者は公約を掲げていただきたい。

説明 選挙管理委員会では前回の町議選から全候補者の公約を、選挙公報として全戸配布しています。

意見 今後の報告会の進め方として、メモが取りやすい机の設置やプロジェクター活用など、生きた報告会にしてほしい。

説明 初めての取り組みなので、ご意見を参考に進めていきたいと思います。

意見 議会広報の編集方針は解りやすくシンプルとのことだが、場合によっては詳細に掲載すべきだ。また、全員協議会も掲載すべきだ。

説明 広報編集特別委員会で検討し、紙面づくりに努めます。

意見 報告会なら前もって会場で広報ひらない・議会だよりを配布するとか、持参するよう一言添えてほしい。

説明 ありがとうございます。今後気をつけていきます。



意見 議会広報編集にあたって、一般質問の録音テープの反訳を仙台の業者に委託しているとのことだが、別な方法があるのではないか。

説明 20数年前から委託していますが、現行通りか否かは今後の検討課題とします。

意見 仕事を休んで傍聴できないので、年4回の定例会のうち1回でもいいので一般質問日は日曜日に開催できないか。

説明 全国的に夜・土曜日・日曜日におこなっているところがあります。意見を参考にします。

要望 土・日曜日開催だと職員の労働強化になるので、録画をし、ホームページにアップすればいつでも見られるので検討していただきたい。

出席者や町民からの意見・感想で～す

行政協力委員にも依頼して、参加者を募るべきではなかったか。

参加者としては、前もってテーマを提示してくれば、質問も準備できる。

なぜ、参加者が少なかったのかということを、議会として真剣に考えてほしい。

取り組むことが大事であり、継続してほしい。開催することに意義あり。



報告会というより、膝を交えての座談会を多くの場所で開催したほうが良いのでは。

参加者も興味を持ち、多く参加してくれるのではないかな。

当日は私用で参加できなかったが、次回は参加したい。

議会・議員の見方が変わるのではないかな。

議会活性化特別委員会より



審議状況

11月24日 第9回 特別委員会

議会報告会開催を受けて活性化特別委員会を開催しました。案件は、報告会の反省・今後の委員会の進め方についてでありました。委員からでた意見は、○議会に対して町民の関心がないのではないかな。○町民から、もっと多くの質問がでると思った。等でした。

今後の報告会や他に取り組む課題は12月11日に全議員で審議することになりました。

1月11日 第10回 特別委員会

12月11日の審議を参考に、委員会では今後はどんな課題に取り組んでいくかを話し合いました。多く

の委員から議会勉強会を開催したいとの意見が出され、委員長、副委員長が青森中央学院大学佐藤淳准教授に面会し、勉強会についてアドバイスを受けることになりました。

議会報告会は6月頃に再度話し合うことになりました。

1月12日 佐藤淳准教授面会

委員長・副委員長・議会事務局長が佐藤准教授にお会いしました。委員会のこれまでの経緯を説明し、佐藤准教授より、明確なアドバイスをもらいました。勉強会の日程も決まり、まずは勉強会に向けて、スタートすることができました。

1月23日 第11回 特別委員会

1月12日の佐藤淳准教授面会の報告をおこない、2月19日に准教授を招いての議員勉強会開催が了承されました。



平成29年第4回定例会を12月11日から15日までの5日間の会期で開催しました。

今定例会では平成29年度一般会計・各特別会計の補正予算案、条例の制定案、専決処分の報告など18件が町長から提出され、審議の結果、原案のとおり「可決」「承認」しました。

また、陳情1件を採択し、議員提案された意見書案2件を原案のとおり「可決」しました。

専決 処分

衆議院議員
総選挙費

平成29年度一般会計
1170万円増額
総額68億345万円

補正 予算

2360万円増額
総額68億2705万円

(万単位で端数処理しています)

会 計 名		補 正 額	補正後の額
一	般 会 計	2 3 6 0 万円	6 8 億 2 7 0 5 万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		△ 1 9 4 6 万円	2 3 億 8 0 3 5 万円
平 内 中 央 病 院 事 業	収 益 的 収 入	△ 9 9 万円	1 2 億 8 7 9 0 万円
	収 益 的 支 出	6 9 万円	1 3 億 9 0 9 2 万円
	資 本 的 収 入	2 6 8 万円	2 億 2 1 4 2 万円
	資 本 的 支 出	2 6 8 万円	2 億 2 1 4 2 万円
水 道 事 業	収 益 的 支 出	△ 1 1 3 万円	2 億 5 9 8 5 万円
	資 本 的 支 出	7 3 万円	2 億 3 4 9 2 万円
農 業 集 落 排 水 事 業		9 万円	1 億 3 5 4 4 万円
漁 業 集 落 環 境 整 備 事 業		1 6 4 万円	2 億 6 8 6 5 万円
公 共 下 水 道 事 業		4 9 万円	3 億 7 9 0 6 万円
介 護 保 険		1 4 0 6 万円	1 3 億 7 5 3 9 万円
後 期 高 齢 者 医 療		1 4 7 7 万円	3 億 1 5 5 2 万円

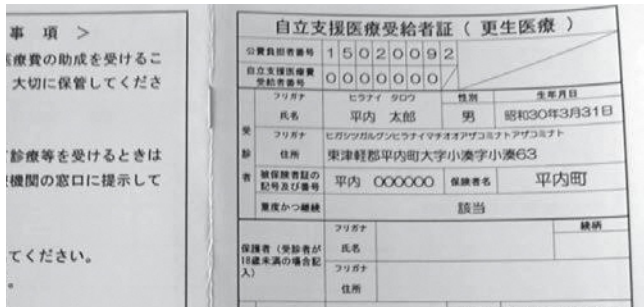
補正の主な事業

職員の人事異動・給与改定分 4148万円減額



自立支援給付費 1432万円

更生医療給付費 1163万円



青少年ホーム維持管理費 305万円

諸破修繕費 106万円

改修工事実施設計委託料 196万9000円



ボイラー修繕

開発センター補修料 261万円

室内修繕費 129万6000円

室内及び付属施設補修代 131万8000円



定住促進新築補助金

12棟分 600万円



Q 移住・定住促進新築住宅建設補助金が始まってからの年度ごとの新築戸数、並びに30年度の見込みは。

A 28年度が27件、29年度は現時点で14件だが、税務課では32件位になると予想している。30年度は予想がつかないので29年度同様の予算を考えている。

Q これまでの実績で、町外からの移住者は。

A 全部町内の方の新築で、町外からの転入はない。

児童手当事業

752万円



国庫負担金返還金
28年度分

夜越山施設管理事業 1153万円



Q 夜越山管理事務所費の作業員健康保険料負担金は指定管理者で契約している中に組み込まれていないのか。

A サボテン園の嘱託は町の直接雇用のため、別である。

小・中学校施設維持管理事業 818万円



小湊小 放送設備

アスベストの取り扱い

- Q** アスベストの分析調査委託料では今後も調査をしていくのか。
- A** 小湊中学校と東平内中学校のボイラー用煙突の断熱材にアスベストが含まれていた。秋口に小湊中学校の煙突剥落があったのでアスベストを囲い込んで飛散防止をおこない使用しないことにした。
- Q** 管内の小中学校や各施設等も全面的に囲いをして使用禁止にしていくのか。
- A** 東平内中学校は剥落がないので使用していくが、剥落があった場合は使用禁止とする。
役場で管理している施設の関連課の担当者に、チェックするように周知したい。



アスベストの飛散防止

- Q** ボイラー用の煙突は囲い込みではなく撤去できないか。
- A** 全部撤去の場合、約2200万円の費用がかかるため、囲い込みで飛散をしないように対策をとった。

協議会の活動内容は

- Q** 東津軽郡教育支援協議会の活動内容は。
- A** 東郡各町村の教育長と東青教育事務所長がメンバーの協議会で、活動内容は特別な教育支援を受ける発達障害が疑われる子供たちの教育環境を、どのようにしたらよいかを検査している。
個別検査、行動観察、医学検査等で総合的な判定を基に保護者と協議し、特別支援学校や特別支援学級等への就学を決定する協議会である。

平内町国民健康保険平内中央病院事業会計



病床利用率が高い中央病院

- Q** 医療機器及び器具購入費の自動体外式除細動器及びポータブル内視鏡について説明を。
- A** 自動体外式除細動器はAEDで役場の玄関等に設置している。ポータブル内視鏡は、持ち運び可能な、痰などを吸引できる器具である。

病床再編計画の状況は

- Q** 先日、青森市長が浪岡病院の建替えを手始めに、管内の病床再編に協力を表明した。
平内中央病院の病床再編に関する補正予算になっているのか。
- A** 今回の補正は病床を再編する予算計上ではない。病床の増減床は条例で定められている。
- Q** 病床再編はどこまで進んでいるのか。
- A** 東青医療圏では具体的な病床減を打ち出していない。
中央病院は病床利用率が高いので削減はしなくても良いのではないかと。よって、現在96床だが増減は考えず経営改革を進めていきたい。

条例制定

◆ひらないまるとグルメ館 設置及び管理条例



完成が待たれます

地方創生拠点整備交付金を活用し、ほたて広場の敷地内にホタテグルメによる交流人口の増加と地域活性を目指したホタテ料理を提供する施設が、平成30年3月に完成することから条例を制定します。

- **設置目的** 第1次産業、商業、工業及び観光業が連携した6次産業化の推進による産業の振興、地域雇用創出や地域活性化を図ることを目的とします。

- **名称** ひらないまるとグルメ館

- **位置** 土屋字鍵懸56番地 431㎡

- **配置概要**

- | | |
|-----------------|------------|
| ○レストラン48席 | ○焼場スペース32席 |
| ○グルメ研究室 | ○厨房 |
| ○チャレンジショップ3坪3ヵ所 | |
| ○休憩展示ホール | |

平成30年3月1日から施行

条例改正

- ◆議会議員の期末手当支給
- ◆町長・副町長の給与
- ◆教育長の給料等
- ◆病院事業管理者の給与
- ◆町職員給与

青森県人事委員会の勧告を踏まえての条例の一部改正です。

質 疑

工藤真一議員 特別職の給与は平成16年第1回定例会において、厳しい財政事情を勘案し町長が10パーセント、当時の助役、現在の副町長は7パーセントの期限を定めず、引下げの条例改正を行い現在に至っている。13年経過し、財政事情も安定していると思われるが、今後も報酬等の審議会に諮問することなく進めていくのかどうか。

総務課長 他町村の動向を踏まえ、詳細に調査し、今後どうすべきか検討していきたい。

工藤真一議員 現状では片手落ちである。

◆個人情報保護

従来の個人情報保護法等に次の項を加えるものです。

個人識別符号 電子計算機の用に供するために変換された文字、番号、記号その他符号など、特定の個人を識別するに足るもの。

要配慮個人情報 本人の人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴、犯罪により害を被った事実、その他本人に対する不当な差別、偏見や他の不利益が生じないように、取り扱いに配慮を要する。

公有財産の取得について



少年院跡地

11月27日に普通財産売却申請書が受理されたことにより、議会の議決後に議決書を東北財務局青森財務事務所へ提出し、承認後に契約締結する予定です。

取得財産

所在地	平内町大字沼館字家岸24-1外4筆
面積	84,939㎡
取得理由	消防施設等建設用地
取得相手	東北財務局青森財務事務所
取得価格	9500万円
取得方法	見積合わせ

◆ 採 決 結 果 ◆

議長（倉内清一）は採決に加わらない

議案番号	提出議案	田中	小笠原智鶴子	亀田弘徳	田中茂勝	太田満則	工藤眞一	木村良一	七尾潔	畑井勝廣	佐々木徳正	田中光弘	三津谷公雄	船橋健人	倉内清一	
報告第18号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて 〔平成29年度平内町一般会計補正予算〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第81号	平成29年度平内町一般会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	平成29年度平内町国民健康保険特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	平成29年度平内町国民健康保険平内中央病院事業会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第84号	平成29年度平内町水道事業会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	平成29年度平内町農業集落排水事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	平成29年度平内町漁業集落環境整備事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	平成29年度平内町公共下水道事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	平成29年度平内町介護保険特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	平成29年度平内町後期高齢者医療特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	ひらないまるごとグルメ館設置及び管理条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第91号	平内町個人情報保護条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	平内町議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第93号	平内町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	平内町教育委員会教育長の給料等及びその支給方法条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	平内町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	平内町病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	公有財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第1号	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議第3号	道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第4号	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

一般質問 町政を問う

一般質問は執行機関に対して議員が町政全般の執行状況や将来の方針など、諸問題の政治姿勢を明らかにするものです。12月定例会では5人の議員が登壇しました。

田 中 大 議員 …… P10 1、時代に即した条例制定を	亀 田 弘 徳 議員 …… P13 1、データヘルス計画に基づく保健事業施策の推進について 2、公有施設の防災機能保有状況と整備計画について
太 田 満 則 議員 …… P11 1、観光について 2、利用しやすい病院を目指して	田 中 茂 勝 議員 …… P14 1、国民健康保険制度の改正について 2、平内中央病院無料患者送迎バス廃止に伴う利便性の確保について
田 中 光 弘 議員 …… P12 1、平内町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2、役場非正規雇用者について	

※質問は通告順です。次ページからの質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。



田中 大 議員

時代に即した条例制定を

町長/年度内に制定する



町公有地（旧浜子操車場）

青い森鉄道

田中 「平内町工場設置奨励条例」は、昭和63年に町内で一定規模の製造や加工工場を新設・増設する者に対し、3年間の固定資産税免除、最高800万円の奨励金を交付し、工業の振興と雇用を図るために制定されたものである。

日本におけるアベノミクス効果が地方まで行き届かない状況の中、現在の条例は一部改正が加えられたままで、これまでの指定工場は4件にとどまっております時代にはそぐわないものと考えているが。

また、条例名が示すとおり、当町では「工場設置」ありきの条例となっている。町が抱える諸問題を勘案するに企業誘致のみならず、雇用促進にも焦点を定め「平内町企業誘致及び雇用促進条例」に改めるべきだ。さらに、対象となる業種の見直しを図り、当町に就職し定住していただくため、どちらか一方の制度を充実させるのではなく、多面的な助成制度を構築するべきだ。

町長 多様化している現代社会において、製造業のみを対象として企業誘致を推進することは、その対象が余りにも限定的であると言わざるを得ないことから、条例の見直しは必要と考えている。様々な提案を参考にしながら取り組みたい。

また、企業誘致については、若手中堅職員で構成する政策推進調査研究会が取り組んでいるところであり、企業を誘致するための町有地の有効な活用方法や企業への効果的なPRといった当町に適した企業誘致の在り方について、調査・研究をしている。町への新たな企業、就業者がふえるような様々な業種・奨励措置を対象とした新たな条例の策定も視野に入れながら、企業誘致に関する施策を進めてまいりたい。現在、新たな条例について既に担当課に作成を指示している。できれば年度内にはその成案を得たい。

田中 良い条例を制定しても、周知が図られなければ意味を成さない。制定後は、より効果的に活かすよう、具体的内容を記載した分かりやすいパンフレットを作成し、「攻めの企業誘致」を実践していただきたい。友人、知人を介しての紹介が企業誘致につながった事例もあることから、広く町民にも周知を図り、町民からの協力を得ながら進めていただきたい。

町長 積極的にPRし、わかりやすくパンフレット等で説明していきたい。

景勝地の有効活用を

町長/連携を図る



太田 満則 議員



浅所海岸 白鳥台覧記念碑

太田 平内町は、昔から「平内8景」「平内6勝」の海岸等の奇岩景観を称えた景勝地が多いところである。例をあげると、

- 全国植樹祭で昭和天皇皇后両陛下がお手植えされた「松」
- 県指定の「藩境塚（通称四ツ森）」
- 特別天然記念物に指定されている「小湊のハクチョウおよびその渡来地」
- 白砂の海岸や東田沢の椿神社と天然記念物に指定されている「ツバキ原生北限地帯」
- 全国渚百選に選ばれた「椿山の松林」
- 水源の森百選の「青垣の里」等がある。

これまで多額投資の「夜越山のサボテン」は今、流行ではない。又、施設の更新・新設は、グランドデザインの下、限られた財源の長期的な有効活用が望まれ、子ども達が遊べるものを整備すべきある。

常陸宮両殿下が訪れた松島海岸。記念碑の周りの石柱は崩れ・草は茫々、案内板の文字は不明瞭、早く直すべきである。その他夜越山公園内で商売をしてみたいと云う声をよく聞くが、特にサボテン公園切符売場の前は利用する価値がある。また、町民からアイデアを募るのも一考である。

宗教法人「大和山」地域は静寂に包まれた景観で、町内にありながら行った事がない・見た事がない人が多いと聞く。関係者の承諾を得て周遊コースにも載せるべきである。その他歴史好きの人には「旧奥州街道」の道を辿るとか、明治天皇が行幸の際休憩所に使った「行在所」も何カ所かあるので、看板を立てるべきである。

町長 全てが観光資源として活用できるとは限らないが、町の魅力を伝えるツールとして貴重であるので、現在の観光地との連携が図れればと思っている。松島・浅所海岸は関係する宮司と懇談を持ち前進へ努力する。大和山地域は当該宗教法人の了解を得て案内をすることも可能だと聞いている。

太田 インバウンド、いわゆる訪日外国人旅行客用への施設・パンフレット・看板等への記載・標記について整備をすべきだ。

町長 3月にオープン予定の「ひらないまるごとグルメ館」は国際的なサイン表示、今後新設する看板には外国語表示も併記して行きたい。パンフレットについては改訂に合わせて取り組んでいきたい。

太田 公衆トイレは冬期間使えるのか。野球場・陸上競技場内のトイレは両端に設置すべきで、和洋式の併設を望みたい。

町長 大島・椿山地域のトイレは冬期間閉鎖をしている。汲み取り式のものは取り壊し和式から洋式に改修を進めていきたい。

利用しやすい病院を目指して

太田 国保の直診病院でありながら、国保被保険者の1割に満たない利用率である。他医療機関の受診・転院を希望したら、紹介状を早期に発行すべきでないか。それこそが患者本位・町民の為の病院であり、患者がいてこそその病院である。

町民から「怒られてバカくさい」「何のために毎月検査をするのか」と一考を要する話を聞くが。

愛される病院を目指す

病院事業管理者 紹介状は早期に作成している。医師と患者のコミュニケーションがとれない患者に対して、医師の指示を守って欲しいと云う気持ちで口調が強くなることもある。

口調や態度で威圧感を与えないよう指導していきたい。



田中 光弘 議員

シルバー人材センター 会員増の目途は

町長/受注件数と会員増に努めたい



会員による除雪

田中 平成27年度から平成31年度までの5カ年計画期間の総合戦略が来年度で4年目である。シルバー人材センター会員の目標が20人であるが、見直しが必要ではないか。または、計画達成を追求するのであれば、仕事量増加の手だてを本格的にシルバー事務局と構築すべきではないか。

町長 会員数が目標に達していないが事務局と連携し、目標の会員数が確保できるよう仕事を模索していくと同時に、シルバー人材センターのPRを強化し、受注件数と会員増に努めたい。

田中 現在の会員は9人で、事務局では「来年度は2から3人増の12人までが可能」とのことだが、20人は非常にハードルが高い。冬期間の仕事が極端に少ないので、定期的に登録者宅の間口除雪をおこなう福祉除雪制度を真剣に考えていただきたい。

漁業法人化の勉強会開催の状況は

田中 平成28年から漁業の会社組織化に向けた勉強会の開催検討となっているが、状況はどうか。

町長 平成28年度末に漁協関係者との話し合いで、将来的には漁業の会社組織化・法人化に向けた取り組みが必要であるとお互いに認識を共有していた。

しかし、県内漁協の合併問題や漁業者自体の機運の高まりがないので、勉強会開催の検討は先延ばしになっている。今後も漁協関係者と連絡を取り合い進めていきたい。

審議内容をホームページに公表せよ

田中 必要に応じて平内町総合戦略の改訂をすることになっているので、最重要機関の創生会議の審議内容も含めホームページに掲載し、公表すべきだ。

町長 創生会議委員の意見を聞きながら公表の仕方も含め考えていきたい。

役場非正規雇用者の待遇改善を

定期昇給を

田中 正規職員の他に嘱託職員、委託職員、臨時職員、派遣社員、指定管理者社員と雇用条件が多様である労働者により行政運営を進められている。しかし、待遇冷遇なので改善を求める。

一般職の正規職員と非正規職員の業務は同じであり、以前のような補助的な役割から正規職員と遜色のない業務をこなしている。町民から見て正規職員と非正規職員、派遣社員とは見分けがたく、全員が正規職員だと思っている人がほとんどである。

当町でも基本給は正規職員同様に毎年昇給すべきだ。

総務課長 賃金体系は、毎年、派遣社員に適切に適用できるように提供している。就業実態や労働状況等に加え、業務内容等の変化によって町と会社で協議している。昇給は会社で考えるべきである。

契約書に基本給を明記させるべき

田中 ある町で2年前に給料の見直しと同時に有給休暇、福利厚生を正規職員と同様にしている。正規、非正規と区別することなく、同じ職場で働き、同じ町民サービス向上の担い手の一人という位置づけで待遇改善に取り組んでいる。

町と会社との契約の際は町からの予算額を上積みにし、契約書に基本給を掲載すべきだ。契約内容により可能ではないか。

町長 派遣会社と町の契約では全体を定め、その中で給料にするかを会社方が採用者と決めていくものだと思っている。余りにも低いのであれば、是正を会社に申し述べることはやぶさかではない。

データヘルス計画の 取り組みは



亀田 弘徳 議員

町長/向上している

特定健診受診率 特定保健指導実施の向上は

亀田 歳をとっても健康的に日常生活を送れる、健康寿命を延ばすことは非常に大切で、このためには特定検診の受診率向上、特定保健指導の実施率の向上が重要である。市町村国保の特定検診受診率は平成27年度で36.3%、特定保健指導実施率は23.6%だが、平内町は平成26年時点で特定保健指導実施率は特に低く6%だった。町の現状と対策、今後の方策について伺う。

町長 特定健診受診率は平成26年度は34.1%だったが、集団検診終了後の戸別検診の受診推奨案内を強化している。さまざまな機会を利用した健診のPR、間木・東滝地区と茂浦地区で「漁師の健康を考える会」を行うなかで健診を受けやすい体制として健診日の沖止めを行って貰うなどし、平成28年度には40.9%にまで向上した。

特定保健指導実施率は平成26年度は6%だったが、健診結果説明会の時から個別に支援する機会を取り入れ、平成28年度は40.2%にまで向上した。

特定検診受診率、特定保健指導実施率の向上は最優先課題であり、今後も引き続き町民の健康意識の向上へ向けて普及啓発に努めたい。

※健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のこと。政府は平成25年に「日本再興戦略」で国民の健康寿命を延ばすことを大きな目標の一つに掲げ、予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりとして「データヘルス計画」を作成し、これを活用することを推進している。

公有施設の防災機能保有状況と 整備状況は

亀田 今年7月、文部科学省は全国の公立学校施設防災機能の保有状況などについて調査結果を公表した。町の状況はどうか。

町長 平内町地域防災計画では管内小中学校6校を避難所として指定している。計画では防災部局と

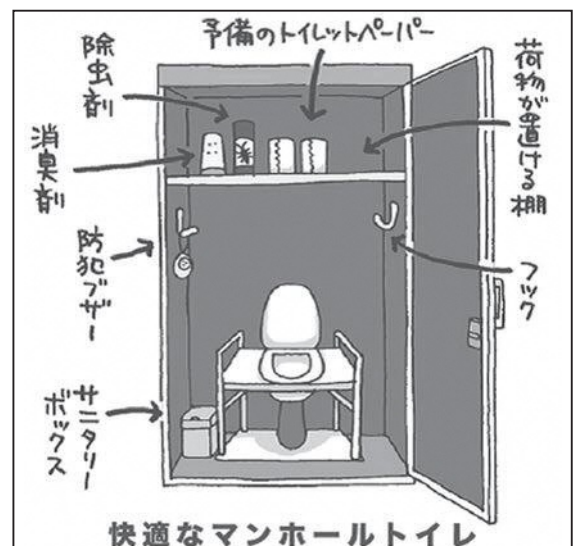
教育委員会との連携、役割を明確化している。しかし、災害時の学校施設利用計画は現在策定されていないので、今後、障害者や高齢者など要配慮者の避難を想定した施設利用計画を策定する必要がある。

亀田 避難施設としての利用を考えると、施設内へのスロープなどの設置による段差解消、多目的トイレの設置が必要だが、町の公有施設で避難所に指定している施設の防災機能はどうなっているか。

町長 学校以外の町が管理する公有施設及び避難所として指定している公有施設は41カ所あるが、スロープ設置済は22施設、多目的トイレは整備済みが14施設である。未整備の避難所への段差解消のための仮設スロープの設置などは今後の課題である。

亀田 避難所は被災地域の中にあってその機能を果たすことが求められる。災害時における防災拠点・避難所でのトイレの確保は、被災地での生活環境の保全と公衆衛生の確保を考えるなら想定すべき重要な課題だ。避難施設の震災時におけるトイレの確保・対策はどうなっているか。

町長 震災時におけるトイレ・し尿対策だが、仮設トイレは汲み取り処理の問題があるため、避難所へのマンホールトイレの整備を考えている。





田中 茂勝 議員

中央病院 患者送迎バス廃止 利便性の確保は

病院事業管理者/利便性向上の見通し

田中 中央病院の無料患者送迎バスが平成30年3月で廃止され、4月からは町民バスを利用することになる。その際、通院者の便宜を図るため、病院が通院用バス利用券を発行して対応することになった。

通院用バス利用券での対応は合理的と考えるが、町民バス東田沢線や稲生線における現在の運行ダイヤでは、余りにも早く病院に到着するため非常に利用しにくい状況だ。これにより、中央病院の患者数も減少するのではないかと懸念している。

病院事業管理者 平成2年4月より青森市営バス、平成16年から下北交通株式会社と年間約840万円で契約し、平成29年度の利用見込みは約3,650人、往復では延べ7,300回の利用となる。

無料患者送迎バス廃止への経緯は当院の経営改善の一つとして、送迎バスの経費面や利便性、利用状況等を検討した結果、

- ① 送迎バスを廃止し、町民バスで通院する患者のバス代を当院が負担することにより、町民バス利用の通院患者が相当数増加しても大幅な経費削減となること。
- ② 送迎バスは曜日ごとの1日1往復のため、非常勤の外部医師による整形外科、皮膚科、眼科、脳神経外科、物忘れ外来、メディコ外来など週1回の診療科や午後のみ診療科の受診には、患者送迎バスの運行日と診療日が重ならないとの患者から不満の声があること。
- ③ 当院を利用しない方が買い物に患者送迎バスを利用しているとの投書も少なくない。以上のことから、無料患者送迎バスを廃止することにした。指摘のとおり、東田沢線や稲生線は朝早いダイヤであり、自宅を早い時間帯に出ることによって、診療時間までに1時間ほどの待ち時間が生じるなど、より不便になるのは理解している。しかし、朝の便だけでなく午後の便も無料で利用でき、曜日に関係なく受診できるといったメリットがあるので、町民全体への利便性は上がり、送迎バス廃止によっても患者は減少しないと考えている。

今回の変更で予期しない事案等が生じた場合は、そのつど柔軟に対応したい。



無料患者送迎から町民バスへ

国民健康保険事業について

広域化に伴う現・新制度の違いは

田中 平成30年4月から国民健康保険制度が変わる。当町の国保税は他の市町村に比べて高額との声があるが、現行制度と新制度の違いの説明を。

町長 市町村から県が財政運営の責任主体を行い、保険者として国保を運営することになる。

県が市町村ごとの医療費水準や所得水準に応じた事業費納付金の額を決定し、市町村が納付することになる。また、現在国からの各種交付金は保険者である県へ入り、給付に必要な費用は全額、県が各市町村に支払うこととなる。しかし、事務は引き続き町が行うため、町民の方の手続は今までと変わらない。

現時点で県より示された試算段階での納付金も税率を改正せずに対応できるものと考えているので、モデル世帯の国保税は今年度とほぼ同額程度と考えている。

一般会計からの繰入れはどうか

田中 一般会計より国保特別会計へ毎年1億数千万円を繰入れしているが制度改正後の繰入金金は。

町長 国保財政の仕組みは、国、県、市町村の拠出金と保険税で運営されているので、一般会計からの繰り入れは、現在、保険基盤安定繰入金や財政安定化支援事業繰入金、職員給与費等繰入金などの法定内の繰入れのみを行っている。今後も同様である。

意見書を国へ提出しました

「道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書」

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣
財務大臣・国土交通大臣へ提出

- 本県の道路整備は未だ不十分な状況であり、主要幹線道路をはじめとする道路網の、より一層の整備促進が喫緊の課題であるので必要な予算の拡充を図ること。
- 道路財特法による補助率の嵩上げ措置が平成29年度までの時限措置なので平成30年度以降も継続すること。

「若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書」

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣へ提出

- 年金カットの年金額改定新ルールは実施しないこと。
- 全額国庫負担による最低保障年金制度を早急に実現すること。
- 年金の支給開始年齢の引き上げをやめること。
- 年金の隔月支給を毎月支給に改善すること。



「意見書採択の陳情」

提出者 全日本年金者組合青森県本部
執行委員長 千代谷 邦弘

「陳情」採択後に意見書案へ

全議員の賛成で意見書を各上記機関に提出しました。

追跡

Vol.3

あの質問はどうなった？

答弁 国土交通省へは連携を
強め実施を働きかけたい。

働きかけたい

質問 テンプラ舗装では済ま
ない箇所を調査し、アスファ
ルトを剥がしての舗装を実施
するよう管理機関に働きかけ
るべきだ。

国道4号の
整備を働きかけよ

(平成29年3月定例会)



現在は



移設したい

答弁 保存継承するためにも、観光客が目にしやすい安
全な場所へ移設したい。

質問 国道4号に面した交差
点角の石碑は、夜越山の歴史
遺産である。石碑が、雪を被
る状態であるのは好ましくな
いので適切な対処を求めた
い。

石碑の適切な対処を

(平成29年6月定例会)



現在は



夜越山管理事務所横に設置

委員会の活動

視察研修報告

総務福祉常任委員会

近代的な消防庁舎を視察して

現在の消防庁舎は建設から49年経過し、老朽化が著しく進んでいます。平成25年に実施した耐震診断では、倒壊の危険性があると判定され、早急の建替が迫られている現状にあります。

多賀消防署



女性署員含む人員増強へ

建替え理由としては築50年が経過し、老朽化が著しく、東日本大震災後に耐震診断をおこなった結果、耐震補強が難しく建替を余儀なくされたことが当町の現状とまったく同じと考えます。

管轄人口は当町の3倍と比較になりませんが、施設等は緊急出動ができる施設構成には配慮、訓練施設の拡充、耐震性貯水槽を完備した防災拠点施設として、より一層の消防力強化を目指している姿に感銘を受けました。特に感じたことは、日常業務の女性署員への配慮と、当町に無い指揮隊を編成していることです。

平成33年4月運用開始を目指す当町においては、施設面は基より、女性署員も含む人員増強も急務であると考えます。

町公共施設等総合管理推進会議で移転新築等について協議されている中、10月26日に当委員会では同規模程度の、しかも最近新築された茨城県「多賀消防署」、27日に東京都港区「芝消防署」の新築の経緯・施設の概要等について視察研修しました。

芝消防署



屋内訓練施設を

庁舎の大きな特徴は、屋内に設けられた訓練施設が挙げられます。旧庁舎には訓練施設がなく、方面訓練場に出向いて訓練をおこなっており、この点は当町と同じ環境であると思います。

東風が強い当町としては、できることなら訓練施設は屋内にと強く感じました。訓練施設を設けることは、時間や場所に縛られず訓練ができ、移動のための時間を費やさずに済むメリットがあります。消防活動・救助活動には日常の訓練が最も必要です。

庁舎新築にあたっては、以上のことを網羅した画期的な新庁舎となるよう期待します。

所管事務調査

経済文教常任委員会

10月24日（火）に「道路及び河川の危険箇所について」所管事務調査を実施しました。

河川の危険箇所については、流木による流れの阻害や土砂の堆積により、氾濫や護岸の決壊などが発生することが考えられることから、その対策を講じることが重要であるとの説明を受けました。十分な対応へ県と連携し、雑木の伐採や河床整理を行うよう努めていくとのことでした。



盛田川を視察

鬼柳氏による 10回目となった議員勉強会

11月17日（金）、郷土史家の鬼柳恵照氏を講師に招いて「ひらない」の昔を知る議員勉強会が開催されました。

「ひらない」の今があるのは、先人がその時々の問題を、知恵を出し合い真摯に向かい合ってきたからだと思います。過去を知ることが未来に繋がることです。

先生の軽妙な語り口に引き込まれる貴重な時間を過ごすことができました。鬼柳先生は古文書解読の功績により平成24年の県文化賞に続き、昨年、県褒賞を受賞されました。

この後も健康に留意され、貴重な語り部としてのご活躍を願っています。

外童子、中野分団に新消防車配備



外童子分団 小型動力ポンプ付積載車

12月10日外童子分団、12月17日中野分団の最新の消防車配備を祈念しての入魂式がとりおこなわれました。

式典では外童子分団（倉本洋之分団長）、中野分団（千代谷茂政分団長）両分団長から「消防団に与えられた使命の重要性を深く認識し、訓練と技能の



中野分団 小型動力ポンプ付積載車

練磨に精進し、有事には地域住民の信頼に応えるよう覚悟を新たにしています」との力強い抱負が寄せられました。

当町では地域の安全性を高めていくために、ここ数年間は毎年2台ずつ消防車が更新配備されています。

—第5回—

おらほの サークル紹介シリーズ

取材者 設立はいつですか？

会 長 11年3月設立で、平成30年が20周年です。

取材者 現在の活動状況はどうですか？

会 長 リズム体操・レクリエーションダンスを通して健康づくりをしながら、地域住民とのコミュニケーションを図っています。施設訪問や夏祭り、敬老会へのボランティア活動などです。

取材者 今後の抱負をおしえてください。

会 長 大勢の仲間達と、短命県と云われている平内の住民として、健康増進の為にボランティアをしながら活動を続けたい。色々な曲に合わせて誰でも楽しく参加でき、健康作りが出来ます。

『常に笑顔で楽しく』。仲間を募っています。
（連絡先 佐々木洋子 ☎755-5705） 毎週金曜日13:00～15:00 山村開発センターで活動しております。

平内町レクダンスクラブ

設立20周年に向けて
張り切ってます～



最後に議会や議員へ、一言お願いします

- ・町民が一堂に会して行なえるような行事(例えば、以前やったような町民体育まつり)が欲しいです。
- ・国道沿いに他町村から来た人達が、足を止めて入ってみようか、行ってみようかと思うような、平内をアピールするような看板が欲しいです。

議会日誌から

▶▶▶ 11 月 ◀◀◀

- 8日 第1回平内町議会報告会
山 口コミュニティセンター
清水川コミュニティセンター
9日 第1回平内町議会報告会
勤労青少年ホーム
17日 議員勉強会
24日 議会活性化特別委員会

▶▶▶ 12 月 ◀◀◀

- 1日 一般質問通告締切日
5～ 議会運営委員会
6日 県選出国会議員への要望活動

- 7日 議会運営委員会
11日 本会議・開会
13日 本会議・一般質問
14日 各常任委員会
15日 本会議・閉会
広報編集特別委員会
27日 青森地域広域事務組合 臨時会

▶▶▶ 1 月 ◀◀◀

- 7日 平内町消防団出初式
11日 議会活性化特別委員会
22日 広報編集特別委員会
23日 議会活性化特別委員会
25日 総務福祉常任委員会所管事務調査
29日 広報編集特別委員会



ボクもとったよ！

議会の傍聴

日程は変更されることもありますので、議会事務局（755）2119へお問い合わせ下さい

平成30年 第1回定例会の予定

あなたに 町の未来が 見えてきます	3 / 2 (金)	開会・本会議 議案上程
	3 / 3 (土)	休会
	3 / 4 (日)	休会
	3 / 5 (月)	本会議 一般質問
	3 / 6 (火)	予算特別委員会
	3 / 7 (水)	予算特別委員会
	3 / 8 (木)	各常任委員会
	3 / 9 (金)	本会議 採決・閉会

編集後記

昨年も全国各地で、集中豪雨・台風による大きな被害が多発しました。当地域では冷夏による稲の不作が頭をよぎりましたが、結果は関係者の努力により平年作を確保できました。一方町の経済を左右するホタテについては、高単価で推移したものの、場所によっては斃死が見られる等、この後の出来が心配されると

ころです。

11月に初めて議会報告会が開かれました。果たして町民が日頃思っている事に対して、議会・議員としての思いが伝えられたのか忸怩たる思いがあります。議会は住民の声を届け、チェック機能を発揮するところ、更に勉強しなければと認識を新たにしております。 太田 満 則

議会広報編集特別委員会

委員長	田中 光弘
副委員長	太田 満則
委員	田中 大
委員	小笠原智鶴子
委員	亀田 弘徳
委員	田中 茂勝



発行／青森県平内町議会
編集／議会広報編集特別委員会

〒039-3393 青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL：017-755-2119
ホームページ：http://www.town.hiranai.aomori.jp/